

数学（ 数学B ） 学 習 指 導 案						
日 時	平成29年 6月13日（火）第2時限					
講 座	2年6組	場 所	特4教室	指導者	高岡 大輔	
単 元	第1章 平面上のベクトル		教科書	高等学校 数学B（数研出版）		
指 導 目 標	1 ベクトルについての基本的な概念を理解し、ベクトルの演算や内積の性質を計算に利用できる。 2 基本的な図形の性質や関係をベクトルを用いて表現し、いろいろな事象の考察に活用できる。		指 導 計 画	第2節 ベクトルと平面図形 1 位置ベクトル・・・・・・・・・・2時間 2 ベクトルの図形への応用・・・・3時間 3 直線のベクトルによる表示・・・・5時間 4 演習問題・・・・・・・・・・・・3時間 （本時はその2時間目）		
本時の主題	ベクトルの垂直条件と線分上の点					
前時の課題	平成27年度愛媛県高校学力テストⅢ型のベクトルの問題を解いておく。					
本時の目標	1 ベクトルの垂直条件は内積を用いて処理できることを理解させる。 2 線分上の点はベクトルを用いて処理できることを理解させる。					
指 導 程 過 程	学 習 活 動		時間	指導上の留意点	評価規準・方法・資料等	
	導 入	前時の課題を確認する。	10	・線分上の点を $s : (1-s)$ に内分する点として処理できることを確認させる。		
	展 開	1	クリアーp.118例題15を解く。 (1) 点H（垂線の足）の位置ベクトルを実数 s を用いて表す。 (2) 垂線条件を内積を用いて処理する。	10	・位置ベクトルの基準を確認させる。 ・内積の性質に注意し、計算させ処理させる	・プリント 【評価規準】 ・位置ベクトルを定め、内積の性質を利用して計算できる。（数学的な技能） 【評価方法】 ・机間観察による解答の確認
		2	平成27年度愛媛県高校学力テストのベクトル問題を解く。	15	・机間観察により、理解度を把握するとともに、適宜指導する。	【評価規準】 ・模範解答の簡潔さを理解できる。 〈関心・意欲・態度〉
	3	解法を確認する。	10	・線分上の点の位置ベクトルの扱いと垂直条件の使い方について注意させる。	【評価方法】 ・解答を回収し、理解状況を個別に確認	
整 理	本時の学習内容をまとめ、次時の予告をする。		5	・図形の性質や関係をベクトルで処理できることに着目させる。		
次時の課題	平成27年度愛媛県高校学力テストⅡ型のベクトルの問題を解いてくる。					
備 考	理系 生徒数 35名（男子24名、女子11名）					